

そうした取り組みを今後も継続的に続けていくことができるようにと昨年4月にNPO法人格を取得しました。そのときにもお話したように、そのことによって何かが劇的に大きく変わるということではありません。今までと同じように名立の“今”を見つめ、名立の“未来”につながるような取り組みを進めていこうと思っています。

とはいえ、私たちにできることは“高が知れています”。
でも、私たちだからできることもあります。

その一つが昨年11月30日に開催された“**なだち未来ひろば**”（写真右）でした。



これからの名立のまちづくりを地域一体となって取り組んでいこうという目的で、企画立案から準備、当日の運営を30～40歳代の若い世代が中心となって行うということ、そしてこれまで行政や住民団体等が主体となって進めてきた“まちづくり”に企業や若い世代、子どもたちの視点や感覚を取り入れて考えていこうとするなど、これからのまちづくりを新しいスタイルで考えていこうとすることができたと思っています。

間もなく令和7年度が始まります。

「あれもこれも…」と思うことばかりですが、その拠るべきところとなる「一人ひとりの生命と暮らしを守り、みんなで作る誰もが安心して暮らせるまちづくり」はこれからもゆるぎない指針としていきたいと思えます。

名立区総合事務所ホームページにこのようなお知らせが載っています。



2022年8月7日 上名立地区夏まつり

「(ろばた館は)設備が老朽化し、多額の公費負担が発生していることなどから、令和7年3月30日をもって、施設の温浴と食堂を**休止**します。(中略)温浴と食堂の**休止**後は、地域の交流の場として活用するため、一部の改修工事を行う予定です」。これまで何年も何度も説明してきていた「**廃止**」という言葉がなぜか「**休止**」です。はて!?

ろばた館の施設自体は今後も「地域の交流の場」として存続するのですが、「温浴と食堂は**廃止**」ではなかったのでしょうか? はて!?

「**休止**」とは「続けていた活動を当分の間やめるものの後でまた始める」という意味であり、だとすれば「ろばた館の温浴と食堂はまたいつか始まる」って、そんなはずはないのにどうしてこんなまぎらわしい言い方をするのでしょうか!?! はて!?

【編集・発行】NPO法人まちづくり未来ネット・名立 理事長 三浦 元二

上越市名立区名立大町 200-1(名立地区公民館内)

☎:025-537-2182 FAX:025-546-7041

✉: matikyo-nadati@bz04.plala.or.jp ホームページ URL: nagatatsu.com HP↑

Instagram <https://www.instagram.com/nadachi.machikyo/> インスタグラム↑



NPO法人まちづくり未来ネット・名立 会報

未来ネット通信

2025年3月25日発行

No.59【春の小川はさらさら…】



3月も下旬になり、“春の小川はさらさら行くよ 岸のすみれやれんげの花に…”の季節になってきました。

そんな小川はどこにあるのかな…とってしまいますが、きっとだれでも小さなころの記憶から水面のキラキラ感や水音が聞こえてくるのではないのでしょうか…。

ということで、もうじき桜も咲き始め、いよいよ待ちに待った“SPRING HAS COME!(スプリング ハズ カム!)”、『春が来た!』ですね。

今冬のあれこれを振り返りながら春の訪れに心を弾ませながら待ちましょう。

《2025 灯の回廊～2月22日(土)～》

朝から降り続く雪の中、不動地区や多くのボランティアのみなさんが灯の回廊の会場設営を行いました。

不思議なもので午前の作業終了前には雪も止み…そして、夜には幻想的な光のページェントが広がっていました。

そして、今年も県道沿いにも“灯”を点そう…と一昨年から始めた“Road to Fudou”に各地区の振興協議会や個人のみなさんからご協力いただきました。

寒い中にもかかわらず準備や点灯にご協力いただいたみなさん、ありがとうございました!



←北部地区振興会
名立駅 MS 作戦実行委員会→



←上名立地区振興協議会
本多利彦さん(岩屋堂)→



《2025 お雛さまイベント》

地域の賑わい創出に…と名立大町自治会、上越市社会福祉協議会名立支所、名立区住民福祉会、そして当会が協力して実施しているお雛さま飾りが5年目を迎え、今年も1月下旬から3月15日までの間に“なだちのあちこち”13か所に21組のお雛さまを展示させていただきました。

そして、3月2日にはお雛さま巡りウォーキング(写真左上:岡金菓子店さん、写真右上:新井町橋本哲夫さん宅)とコンサート(写真下)を開催し、約40名のみなさんから合唱とサックス演奏を楽しんでいただき、ひと足早く春の訪れを感じていただきました。



《おとこしょクラブが始まりました!》

名立区では現在8地区でいきいきサロンが開催されているほか、一昨年12月から地域も年齢も性別も不問で、だれでも気楽に気軽に…と始めたまちなかサロンも毎月1回開催されていますが、

なかなか男性の参加が少ないことから、3月14日(金)に“物は試し”に男性だけの集い、名付けて“おとこしょクラブ”を開催しました。

“おとこしょ”ということでビールを片手に…とは残念ながらいきませんでした。ダーツやマージャン、そしてeスポーツ(ボーリング)などで楽しんでいただきました。

まずは準備体操



ダーツ(写真上)とeスポーツ(ボーリング)(写真左下)は初めての方がほとんどでしたが、コツをつかむのも早く、みなさん好スコアを出していました。

マージャンは久しぶり(30年ぶりとか…)の方が多く、最初はやわやわといった感じでしたが、“昔取った杵柄”でしょうか、その後は真剣な表情でパイを握られていました。



そうした合い間にお茶やコーヒーなどを飲みながら語り合う姿も見受けられましたし、「また次回も楽しみたい」とか「次回はリベンジ…」とかいう声も聞こえていました。

実はおとこしょクラブは令和6年度当初事業計画にはありませんでしたが、いきいきサロンやまちなかサロンを開催する中で「男性のサロンもあっていいのでは…」と上越市社会福祉協議会名立支所、名立区住民福祉会と企画し、年度末にはなりましたがなんとか開催することができました。

今回は60~90歳代の7人の参加でしたが、今では毎月平均16人の参加でにぎわっているまちなかサロンも第1回参加者は7人だったんです。

ということで今後も“おとこしょ”のご意見や要望等をお聞きしながら多くの参加者が楽しく集えるおとこしょクラブにしていけたらと思っていますので、どうぞ多くのみなさんの参加をお待ちしています。

《令和6年度の取り組みを振り返りつつ…はて!?!》

毎日の暮らしの中で様々な不安や心配ごと等を抱えている方は多いかと思えます。

だからこそ令和3年3月に策定された名立まちづくり計画では「一人ひとりの生命と暮らしを守り、みんなでつくる誰もが安心して暮らせるまちづくり」という一人ひとりの思いや願いが掲げられたものと思えますし、私たちNPO法人まちづくり未来ネット・名立はそうした思いや願いを一つでも叶えられるように取り組んでいくことが役割と考えています。